

枕で睡眠が改善する？って本当なののでしょうか？

間違いだらけのまくらの選び方

快眠できる枕ありませんか？

かつてお客様から必ず聞かれたのがこの言葉。ちょうどオーダー枕が話題を集めかけたころです。その一方で、「デパートで枕作ってもらったんだけど、どれだけ枕を替えても合わない」というお声も非常に多いのです。

枕で眠りが変わる？

イエス、しかし本当はノー

巷にはオーダー枕以外に、整体師の作る枕とか、指圧師の作る枕とか、一番多かったのは低反発枕など、多くの枕が出まわりました。確かに、日本では高すぎる枕を使っている方が少なからずいらっしゃいましたので、枕を替えれば寝姿勢は改善したのです。ところが・・・

枕は敷寝具の一部

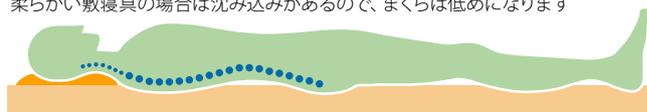
枕だけ合わせても、本当の解決にはならない

仰向けの寝姿勢をみてください。頭部と頸椎を支える枕は、実は敷寝具のごく一部です。身体を支える大部分は脊椎ですから、背骨を正しく支えることが最も重要である、ということがわかるでしょう。頸椎は背骨の延長、つまり枕は敷寝具の一部と考えるのが正しいのです。

硬い敷寝具の場合はまくらは高めになります



柔らかい敷寝具の場合は沈み込みがあるので、まくらは低めになります

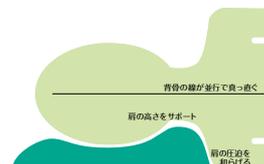


敷寝具の硬さによって、最適な枕の高さは変わってしまう

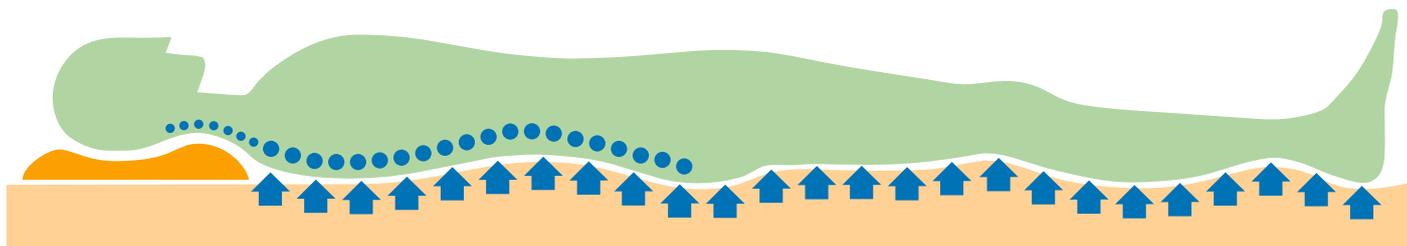
上の図をみてください。硬い敷寝具では柔らかいものより高めの枕が必要です。オーダーで合わせても、敷の硬さが違うと枕は合いません。

横寝の場合はさらに問題

横寝の場合、肩の出っ張りをどのように受け止めるかで、必要な枕の高さは変わってしまいます。敷寝具全体を合わせて、背骨が真っ直ぐになるようにする必要があります。



結論 最適な敷寝具を先に選び、枕はそれに合わせる



枕の役割
頸椎を支え、気道の角度を2~5°に保つこと

敷（ベッドの場合はマットレス）の役割
脊椎のS字カーブを正しく支え、適度な体圧分散を行うことにより
身体に負担のかからない寝姿勢を実現する

快眠への追求から生まれた

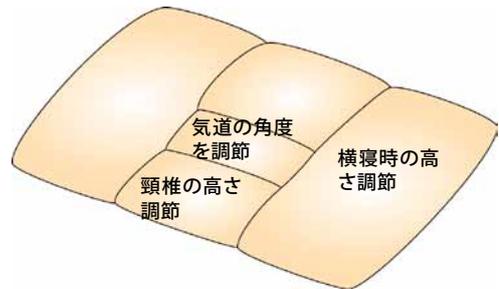
無料フィティングサービス付き

さわだオリジナル安眠枕Ⅳ

リネン+麻わたのキルトカバーが付いて、吸湿性アップ、頭寒足熱で寝心地がアップしました



調整が楽になりました。新バージョンのオリジナル安眠枕Ⅳ新登場



側の厚さを2種類に、多様な高さに対応
側を2種類（マチ4cmと8cm）で新設計。従来のタイプが弱かった、高くてしっかりした仕上りにも対応しています。ポケットのついた出し入れ口なので、中身の出し入れも容易になっています。

リネン麻生地+麻わたのキルトカバー

本麻クール枕パッドとして好評の枕パッドをキルトカバーにして標準装備。麻なので吸湿性が良く、熱のこもりがありません。寝心地がソフトでやさしくなりました。



よりワイドな70cm巾

横寝時にもたっぷり枕を当てていただけるように、従来の63cmから、仕上りで70cm（側サイズは75cmあります）とよりワイドに仕上げました。

選べる3種類の中身・丸洗いOK

従来人気のウールノップス、そしてパイプは新しく竹炭入りに変更。さらに、その中間のガサガサしない独特の風合いのあるエラストマーパイプの3種類を用意しました。全て丸洗い（手洗い）OKです。

ウールノップス・竹炭入りパイプ	18,360円
活性炭入りエラストマーパイプ	25,920円
(8%税込価格)	

高さを調節するハニカムシート2枚内蔵

さらに、新バージョンではハニカムシートを2枚入れて調節が簡単になりました。少し低くする場合はシートを1枚抜けばいいようになっています。また、ハニカムシートを表面側に持っていくと、通気性がアップし、寝心地がマイルドになります。お好みに合わせて柔軟に組み合わせてもらえるようにしているのです。



いつでもフィティング調整は無料

敷寝具が変わったなど、いつでも再フィティングを行います。安心してお使いください。